

質疑応答	
市民	私は色々な博物館・郷土資料館に行っている。皆さん熱心に作っている。基本計画に関する考え方には賛成だが、その上でお聞きたい。 博物館は中身が大事。どんな企画展をやるか、どのように資料を保存するか。そのためには、知恵が大事になってくる。山宮の奇石博物館も、リニューアルする際に市内の芸術家の水越さんが力を加えてから一般のお客様が増えた。 今回の基本計画について、キュレーターの方、企画の方等はいるのか。建物はコンペ等の企画はあるか。
文化課長	基本計画を作るにあたって、博物館等の整備を行っている業者に委託しているが、市としてどんな博物館にしたいかというのは、令和3年度に作った基本構想が元となっている。それを具体化したものが今回の基本計画。色々な専門家の意見を聞きながら、市がどんな博物館にしていきたいかというものがあり、保存や展示等の方法など技術的なものに関しては、委託先の会社に支援していただいている。 今後、建物については次の基本設計の段階になる。基本計画に必要な面積や必要な部屋が書いてあるが、これを元に業者さんが部屋の配置等を考えながらデザイン等を考えていく予定となっている。
市民	では業者はもう決まっているのか。
文化課長	まだ。基本設計に移るためには予算が必要。議会で承認されたら入札で業者を選んでいく。
市民	私はほとんど博物館を見たことがない。富士宮に長く住んでいるが、富士宮にどんなものがあるのか分からない。富士宮市の郷土史博物館で目玉になるものは何か。また、来館者は何人を想定しているのか。
文化課長	55ページに展示について書いてあるが、富士山の自然のもと、そこで行われていた富士宮の成り立ちや歴史全体を知っていただきたい。そして地域の歴史や、資料をもとに富士宮全体を説明していきたい。目玉は、指定文化財をただ見せるだけではなく、富士宮の歴史を知ってもらうようなストーリー性のあるものを展示したい。 どれくらいの人数を想定しているかという、焼津市や三島市の博物館の来館者は年間3万人ちょっとくらいで、富士市のかぐや姫ミュージアムでも、令和6年に3万8,000人くらいだったので、富士宮市は2万人中ごろから3万人を目指している。
市民	私は柚野に住んでいる。概算事業費30億円を想定しているとのことだが、最初は20億くらいだった。今後もっと上がっていく。計画を現時点で確定しても予算が上がっていくのではないかな。 計画は新築で建設することとなっているが、今後学校の統廃合がある。今計画を確定するより、学校が空いてからやればいいのか。 もう一つは、パブリックコメントに書くとかどのように反映されるのか聞きたい。僕は40代後半だが、同世代前後の人がいちばん納税しているが、忙しくて説明会に來れない人が多い。そういう人たちがパブリックコメントを提出したときに、どのように検討され反映されるのか聞きたい。
教育部長	廃校の利用について、富士宮市の小中学校が建設から40～50年経っている学校がほとんどであり、今、市では、公共施設を長寿命化工事で70年持たせようとしている。仮に小中学校が統廃合となっても、建物をそのまま利用できないので、博物館として使えるようにするにはかなりの改修が必要。その改修費用をもって、70年しか持たないので、20年前後でまた新たな更新と考え、初期投資はかかるが新築し、長寿命化を重ねていくことで、70年持たせるしっかりした施設の方がコスト的にも良い。
文化課長	パブコメは、この計画のどこをどうしたいか書いて提出してもらい、その後市で洗い出し、今の計画の中でこのままでいいか、変える必要があるか検討し、検討した結果は、どのように反映したか回答をHPに載せる。
市民	具体的にはどこが検討するのか。企画戦略課か。
文化課長	文化課。最終的には策定委員会で検討し、回答・対応する。

市民	これは教育委員会でやっていることか。まだ何も決まっていないのか。途中でやめることはあるのか。市長も賛成議員も来ていない。実際にこの計画が始まるのかも分からないということか。それとも大体決まっていたのの説明会か。
教育部長	教育委員会としては、博物館は必要と考えている。 令和7年に予算化されて基本計画を作っている。次の基本設計は議会の議決が必要。それがないと次に進めない。今これをもって博物館を建てるかどうかというところではない。教育委員会としては必要な施設だと考えるので、議会に補正予算等を提出するが、議決が必要。
市民	必要性は分かっている。実際に国からの補助金がどのくらいかなど数値的な事を知りたい。 聞きたいことを即答できる市のトップの人に説明会に来て欲しい。
教育部長	私が教育委員会として即答できる立場で来ている。66ページに、建設費はおおむね30億円と書いてある。
市民	では国からいくら補助金がもらえるのか。ふるさと納税はいくら入るのか。補助金とふるさと納税で30億円は賄えるということか。
文化課長	国で最大補助率1/2の交付金がある。条件があるので、30億円の半分が確実に出るとは言えないが、目指していく。残りは、金額の全部を博物館に使うのは難しいが、富士宮の発展のために色々な方が寄付いただいているので、いくらかは決まっていないがふるさと応援基金から使い、できるだけ一般財源は少なく済むようにしていく。
市民	一定額確保されていると先ほどおっしゃっていなかったか。その一定額とはいくらか。
文化課長	ふるさと応援基金は24億円。ただこれを全て博物館に使うわけではない。
市民	知りたいのは、ふるさと応援基金のうち、いくらを使って市の負担はいくらになるのか言って欲しい。
文化課長	確定した数字はない。
市民	予算は十分あるということでもいいか。博物館をつくっても大丈夫ということか。維持費はずっとかかる。人口は減っており、富士宮市から出ていく人の方が多い。市長など、決定的な事が答えられる方に聞きたい。郷土史博物館の必要性は分かるが、金銭的なことが心配。
文化課長	決定的な事を知りたいとのことだが、建設費がいくらになるかという数字も確定していない。国の補助金の上限額1/2を検討していただけるかということも確定していない。予算も確定していない。市のどの職員が答えても回答は同じになってしまう。できるだけ一般財源を使わないようにしていく。
市民	先ほど基本計画の説明をしていただいたが、建設の話が多く、基本理念が薄く感じられる。先ほども説明の中で基本理念はほとんど飛ばされてしまった。人づくりの拠点とあるが、分かりにくい。どういう人づくりか。どのような姿かイメージしにくい。再検討して欲しい。 大鹿窪遺跡から始まって現在までの富士宮市の歴史を本格的に展示するなら、計画している博物館の規模では狭いと思う。歴史とは、人々の暮らしが大事。蚕神などには皆気づいていない。また、人々はお米だけで生活していたのではない。日本の殖産興業の中でもかなり重要な部分であった生糸も重要。そういうものが沢山あるので、追及していくとかなりの量があると思う。そういったものを色々展示するとしたらむしろ狭いのではないか。 どれだけの人が関わって博物館ができていくのかが気がかり。

文化課長	基本理念が分かりづらいとのことだが、富士宮市を好きになって愛着を持ってもらいたい。歴史文化を学ぶことは、過去を知って未来に活かすこと。富士宮の将来を一緒に考えてくれる人づくりをしていきたい。色々な世代の方が博物館の活動に参加していく中で、社会教育として様々なことを学びながら高めて富士宮のために行動してもらえるような人になっていただきたい。色々な人と関わりや繋がりを作っていただいて、歴史文化に触れながら次の行動に移っていけるような、ソフト的なこともやっていきたいと思っている。 狭いという話だが、他の施設で、展示施設がかなり広いところもあるが、富士宮としては、たくさんの歴史文化はあるが、金額のことで心配されていることもあるので、身の丈に合う規模の博物館でどう展開していくかというところは、市で工夫しながら学芸員と一緒にやっていく。また、博物館の中ですべてを完結するのではなく、博物館を拠点として歩く博物館などを通じて市内全体の歴史文化を理解していただくことをやっていきたい。
市民	富士宮は妻の実家であり、今自分は大中里に住んでいる。富丘村の過去を調べようと思ったが、全然調べようがなかった。教育委員会で富丘村の資料を持っているのか。そういうことがすぐ調べられなくて、地域づくりに若干不便を感じている。過去の資料はどこで調べられるのか。 また、現在の市長がこの事業の大きな推進者だと聞いた。もし博物館の建設に反対の人が市長になったら、博物館計画が頓挫することがあるか。
市職員	富丘村の資料は、市史編纂事業の中では情報提供はない。逆にそういった資料があれば探したい。 また、富丘村には熊野神社があるが、神社の近現代資料に、提供を受けて調べさせていただいた経緯がある。資料はお返ししたが、こちらで情報としては持っているので、歴史をお調べの際にはそういったものから答えできる。
市職員	富丘村誌というものがあり、富丘村誌を編集する際に富丘村誌資料、きちんとした本を作る前段階の色々な調査をした時の手書きの原稿があることはこちらで把握している。もしご興味があれば、6階文化課まで来てください。
文化課長	この事業に反対の市長が当選したら、次の予算に上げることは難しいと思う。文化課としては、今の施設は十分ではなく、ずっと課題だった。この課題はずっと持ち続ける。次の市長が、この事業はストップと言ったとしても、文化課としてはそこを理解していただけるようお願いしていくことになる。
市民	博物館を建てるのはいい。建築費が30億円かかるとのことだが、それだけでは済まない。もっとかかる。人件費もかかる。 教育委員会で、学校からの要望を却下していないか。例えば、市内の学校には和式トイレが多い。なぜ洋式に変えないのか聞いたところ、予算が無いと言われた。まずは子供達が安心して学校生活を送れるように不便を無くしてから博物館を建てるべきだ。優先すべき事業が違う。
教育部長	トイレの洋式化について、学校からの要望を教育委員会が全く聞き入れていないということはない。沢山の要望がある中、優先順位をつけてやっている。すべての要望を叶えるには予算が足りないなので、要望の高いものからやっている。 学校の洋式トイレは60パーセントを超えていて、県の平均とほぼ同じ。子供たちに不便はかけているが、限られた予算の中でやっている。数が多くて中々進まない。学校再編を進める中で洋式化も進んでいく。全くトイレの洋式化に取り組んでいないわけではない。

文化課長	ランニングコストについては、施設の維持管理経費、人件費、色々な事業をやっていく中でしっかりしたものを借りてくることがあればお金がかかる。維持管理費は、建物がある程度決まっていってこないとしっかりした数字が出てこない。 人件費については、現在学芸員が6人おり、その6人は博物館で業務を行うこととなる。事務の職員も何人かは増えるが、今より少しプラスになるくらい。 目の前の生活が一番大切だと思うが、社会教育施設は、ふとした時に豊かさを得られる場所。この博物館は入館料を取らない。博物館なんて行ったことがない、歴史は分からない、つまらないと言われてしまうかもしれないが、そうではなく、生活に身近なテーマを企画展などで扱いながら、なるべく市民の方に来ていただけるようなものを開催し、市民の税金から運営していくものなので市民の生活に心の豊かさをプラスする形でお返ししていくような施設にしていきたいと思っている。経費が全く増えないわけではないが、そういった形で税金を使わせていただく。
市民	説明会に来るのは二回目。建設の思想や基本理念は分かった。一番心配しているのは、お金や投資の問題。ある程度のランニングコストは固めて欲しい。設備費や基本設計のところ、ランニングコストが高いと経営負担も高くなる。
文化課長	先ほどランニングコストの中に事業費分も含まれていると説明し、また、基本計画に色々な事業をやりたいと書いてあるが、全部を一度にはやれないと思う。どんな風にやっていくのか学芸員と考えていかなくてはならないし、人件費もどのくらいかかるのか考えていく。これから基本設計に入るが、なるべくお金がかからないような工夫も必要だと思っている。今ご意見いただいたことをしっかり考えていきたいと思っている。
市民	ランニングコストの中で、特に不安に思っているのは修繕費。文化会館もそうだが、建物は必ず修繕が必要。先ほど、富士宮では建物は70年持たせることを想定していると言っていたが、70年分の修繕費やランニングコストは誰持ちか。建設費は市民になるべく負担がかからない方法でとのことだが、こういった費用に関しては内訳はどうなってくるのか。
文化課長	市の建物について、長寿命化計画を立てて順番に修繕している。文化会館も順番が回ってきたので行っている。本庁もここ数年、何年かけて修繕している。そうやって皆さんの税金を使いながら行っている。博物館も30～40年経つと修繕が必要になるかと思うので、計画の中でやっていく。
市民	基本計画の概算事業費が書かれているページに並べて、博物館を建設した場合に、毎年どのくらいのランニングコストがかかり、何十年ごとにおおむねどのくらいの修繕費がかかるかという数字を載せた方が良い。博物館を建てるか建てないか、賛成か反対かを判断する上で必要になってくるのではないかな。
文化課長	建物の維持管理費がどのくらいかかるかというのは、基本設計をしてみないと分からない。電気、エアコン、省エネ等、今出すことは難しい。ほかの施設の数字は出せても、博物館は全くかけ離れた数字になってしまうかもしれないし、変に独り歩きしてしまうかもしれないので不確実なものを載せるのは難しい。
市民	それなら金額は入れなくていいが、このような費用がかかると列挙することが必要。
文化課長	パブコメで出して欲しい。検討して反映したい。
市民	以前埋蔵文化財センターに行ったが、山梨の釈迦堂遺跡の展示方法とあまりにも違うのでショックを受けた。埋蔵文化財センターでは、土器がむき出しでだれでも触ることができるような感じで置いてある。釈迦堂遺跡では、一個一個ガラスに入っていて、大切にされている。 以前、富士宮市は予算がなく、整理できていない資料が山積みになっていると聞いたことがある。今ある資料をちゃんと整理できるようにするために、予算がどれくらいかかるか考えた方がいい。 静岡市立歴史博物館のように遺跡を見ることができるような博物館を大鹿窪に作っていただいて、中身の保存にお金をかけていただきたい。資料にリスペクトをもって、土器や遺跡を修繕する事にお金をかけてもらいたい。
文化課長	土器の修復作業は日々行っている。展示スペースでは土器等がケースに入っていない。しっかり守るためには、おっしゃったようにケースに入れるのが必要。 展示のイメージ図はあるが、具体的にどんなケースに入れるか等は、基本設計で金額と併せて決まってくる。

市民	なぜ埋文センターはあのようになってしまったのか。お金が足りなかったのか。これからつくる博物館も二の舞になってしまう。 いずしるという伊豆の国市の博物館ができたが、きれいな建物で、12億円かけてできたという。よその地域でそのくらいの金額でできたということで、参考にできるのではないかと思う。
文化課長	埋蔵文化財センターは、旧芝川町時代の保健センターを活用したもの。文化財が市内に点々とあったものを一つにまとめるために改修して埋蔵文化財センターとした。あくまで埋蔵文化財センターは埋蔵文化財を調査、整備するための施設なので、展示メインではない。博物館ができればちゃんと言う。
市民	住民は入館料を無料にするとのことだが、博物館自体の収入がない。住民は無料にして、外国人や観光客は有料にするなど、オーバーツーリズム対策のためにも二重価格にしてはどうか。 市民も展示が面白ければ来るが、面白くなければ来ない。外国人観光客や市外の人に来てくれるくらいの展示にしていけるのが大事。パブリックコメントを出す予定。
文化課長	入館料は無料の予定だが、これから検討していく。
市民	去年の今頃、反対の署名運動が5,000人集まったときにこの計画を知った。5,000人の反対ならそのまま計画を進めても大丈夫という感じだった。僕の周りには、この計画をちゃんと知っている人がいない。知ったところで大賛成の人もいない。どうやったらこの計画はつぶれるのか。 パブコメはハードルが高い。市民の皆様のためになるような施設をと言っているが、僕の周りには、そこまで施設を十分に楽しむような人がいない。 今一度住民投票をして、本当に必要かどうか全員に聞いて欲しい。
文化課長	市民の皆さんにアンケートをといるところだが、この計画を聞いてもらっている人に必要性を理解してもらいたいと思っている。色々な人がいるので、博物館に通っている人口が少なかった場合、それを切り捨てていいかといったら、そうではないと思う。 市に文化課があり、歴史文化を伝えるということが市の仕事。国にも文化財保護法がある。市として、市のたからを守るのが我々の仕事なので、大切なものだと考えている。そこに親しみを持っている方は市民の中に誰もいないわけではないので、そういう人たちの意見を切り捨てるというのはないと思ったときに、単純なアンケートや投票で決められるものではない。普段あまり博物館に来ない人にも、来るきっかけを提供していきたいと思っている。
市民	5,000人の署名は切り捨てたイメージがある。市のお金を使うならば、大多数の人が賛成しているものに使うべきではないか。僕は署名した。まず1回はアンケートを取ってほしい。市民のイメージも大切にしてほしい。
文化課長	そういった意見をお持ちの方も多いと思う。市としては、やるべきことだと思っているので、市民へどのように返せるか考えて取り組んでいきたい。